男女共同参画社会に関する県民意識調査 意見一覧

テーマ番号	問番号	意見	対応
4 2	問3	【選択肢の変更】	
		6. 労働時間の短縮や休暇制度を <u>普及</u> することで⇒制度を <u>充実</u> することで	●制度を「普及する」→制度を「 <u>充実する」</u> に変更
		7. 休業しやすい <u>雰囲気</u> があること⇒休業しやすい <u>職場の雰囲気</u> があること	●「雰囲気がある」⇒「 <u>職場の雰囲気がある」</u> に変更
		8. 女性が働くことを希望したときに様々な支援	●「様々な支援が」⇒「 <u>相談窓口の充実など様々な支援</u>
		⇒具体的な記述がないと、女性を優遇する支援と誤解される	<u>が」に</u> 変更
♦ 3	問5	(1) の3男性が・・・とあるが、配偶者のことか(4は具体的である)	●男性は配偶者を想定している。
		(2)の2育児 <u>休業</u> や介護 <u>休暇</u> ・・・とあるが、 <u>休業か休暇に統一</u> を	●「休業」に統一する。
		(3) の5退職した女性の再就職の支援の前に、再雇用制度を追加しては	●再就職には再雇用も含まれると考えられるため、原案
			どおりとする
♦ 3	問5	(1) の3男性が、家事・育児・介護などを <u>手伝ってくれること</u> を、介護など	●「手伝ってくれる」⇒「 <u>参加してくれる」</u> に変更
		に <u>参加してくれる</u> などに変更してはどうか	
		⇒「手伝う」というのは元々男性の役割ではないことをやってあげている様	
		な表現と受け取れる	
♦ 3	問5	(2) 企業など職場において必要なことに追加してはどうか	●選択肢2を「育児休業や介護休業などが整っている、
		●育児休業などが取得しやすい雰囲気があること	または、取得しやすい雰囲気があること」に変更
		⇒制度が整備されていることも重要であるが、取得しやすい雰囲気も重要と	
		<u>考える</u>	

♦ 3	全体	【マタハラ】についての項目を追加してはどうか。	● 問5の(2)と(3)でマタニティ・ハラスメント
		⇒企業で働く場合、妊娠による配置転換や勤務時間変更はつきものであり、	の意識を問うための選択肢を追加
		最近ニュースでも取り上げられており、関心がある方もいるのではないか	
♦ 4	注1	パートナーからの <u>体</u> や心への⇒パートナーからの <u>身体</u> や心への	●体や心への⇒ <u>身体や心</u> に変更
4	問6と	(ウ) の選択肢、あなたに、は不要	●「あなたに」は削除
	問8		
♦ 4	問8の	1と2の、ご自分の、は不要	●「自分の」は削除
	副問1		
♦ 4	問 10	2と7の相手が嫌がっているのには不要では。	●選択肢は意思を表明できないケースも含めていると考
		嫌がることを言えない状況も想定される。	えており、原案どおりとする
♦ 4	問 11	(ケ)育児・介護休業 <u>制度</u> ⇒育児・介護休業 <u>法</u>	●育児・介護休業 <u>制度</u> ⇒育児・介護休業 <u>法</u> に変更
♦ 5	問 11	選択肢の追加	●クオータ制→追加
		●クオータ制・・・・政府が、女性登用率30%を掲げている。様々な決議期間	●労働者派遣法及びパートタイム労働法⇒
		に一定数の女性が参画してはどうかという世の中の動きがある	男女共同参画に関する用語の認知度を問う設問の主旨
		●労働者派遣法・・・・非正規雇用に大きく関連	にはなじまないと考えるため、原案どおりとする
		●パートタイム労働法・非正規雇用に大きく関連	
		今まで聞いたことがなくても、今回の意識調査によって"知る機会"となるの	
		ではないか	